

# 平成26年度第1回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 平成26年7月9日(水) 9時30分～10時30分

会 場 倉敷市役所本庁舎9階 902会議室

## 出席者

委員 三村委員, 石井委員, 植田委員, 山崎委員(副会長), 山磨委員(監事), 岡野委員, 岡本委員(会長), 榊原委員(監事), 藤田委員

## 事務局

保健福祉局) 岡副参事

保健福祉推進課) 月本課長補佐, 妹尾主幹, 久保田副主任, 宮崎主事

## 欠席者

委員 木村委員

傍聴者 なし

## 議事内容(要旨)

### 1 開 会

委員9名の出席により, 倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき, 会議が成立していることを確認し, 開会を宣言した。

規約に基づき, 会議の進行を岡本会長に依頼した。

### 2 議 事 (発言者: ◎会長 ○委員 ■事務局)

#### (1) 平成25年度事業報告, 決算報告及び監査報告について

■ 資料に従い説明を行った。

○ 基金の歳入歳出について監査した結果, 歳入歳出各科目の収支に関する経理は, 基金の目的に沿って適切に処理され, 関係帳簿も正確であったことを報告し, 監査報告とする。

○ 基金は本来運用益で事業を行うものとのことだが, 運用先や年間どのくらい利息が発生しているか等について教えてもらいたい。

■ 基金の運用については, 出納室に依頼しており, 利付国債や定期預金等, いろいろな運用を行っている。利率が低い状況の中, 出納室で有利な方法を検討し運用してもらっている。

○ 利息は年間どれくらいか。

■ 平成25年度の利息は, 約160万程度である。平成25年度は, 平成20年度に購入した利付国債の償還年度であったため利息が多かったが, 今年度は, 昨年度利息よりかなりの減額になると思われる。

○ 行き先によりバス代等の補助が出る制度があるが, しらかべ号はそのような制度の利用はしなかったのか。

■ 収入に計上されていないので, 利用していないと思う。

◎ 制度の利用について, 情報提供として伝えることはできると思う。

○ 今後計画を立てる際も, いろいろな情報を集約し, どの近辺であれば少しでも減額できる等の検討をする努力をしてもらおうよう提案してはどうか。

\*\*\*承認\*\*\*

#### (2) 平成26年度事業計画及び予算(案), 各申請団体の審査について

■ 資料に従い説明を行った。

- ◎ 新規の団体の申請数は、例年このくらいの件数なのか。
- 近年はこの程度の件数であり、横ばいである。
- 新規団体で会員数6名という団体がある。団体の人数について規定は無いが、6人という会員数だと仲良しグループのように思え、気になった。また、この団体の予算内訳書だが、参加予定人数やイベントの回数を考えると、印刷代やテキスト代等の消耗品費が高いように思われ、基金の助成を行う事業としてふさわしいのか少し疑問がある。
- 会員数についてだが、何人以上という制約は無い。団体の新規事業立ち上げへの助成という趣旨から考えて、基準が設けられていないと考えている。消耗品のテキストだが、団体からは、購入したテキストを次のイベントでも繰り返し使うよう検討する予定だと聞いている。
- 限られた範囲の方のみが参加する事業ではなく、もう少し範囲に広がりのある事業を実施して欲しいという希望がある。
- ◎ 会員の6人を中心に、参加者を募りイベントを実施するという事なのか。
- 事業計画書によると、イベントの参加者や会員6名の他に、当日お手伝いのボランティアも参加予定のようだ。
- 最近、助成を受けている団体が減少しているようで、事業費等も減少傾向にある。情報発信の仕方に地域的な偏りがあるようにも思われるし、このような助成制度があること自体、一般の団体・市民にうまく伝わっていないのではないのか。この事業は、このままいくと次第に縮小する傾向なので、助成制度を大勢の方に活用してもらおうということであれば、そのための新たな取り組みが今後必要になってくると思う。
- 現在は、ボランティアが集まる市民活動推進課や社会福祉協議会、総合福祉事業団の窓口チラシを配布したり、広報紙の二月号・四月号に掲載、また、市民活動推進課のHPの中に掲載するなどの広報活動を行っている。
- 日常生活用具給付事業だが、故障した場合等の費用はどうなるのか。
- 規則を見ると、市内に住所を有する寝たきり高齢者等に対して日常生活用具の給付を行うことにより、日常生活の便宜を図るとされている。これは給付制度であり、壊れたものを修理する等ということとは含まれていない。
- 新規団体についてだが、この団体は過去に実績があり、県の協働事業にも関与していたようだ。
- 県の助成や、市民活動推進課の企画提案事業の助成を受けたことはあるが、今回申請されたのは、今までの事業とは別の新規事業であるため、助成対象に含まれると考えている。
- 新しい視点からの取り組みとは思いますが、助成を受けることに慣れているという面はないだろうか。
- 事業計画書の事業実施回数や、参加予定人数から見ても、事業目的に記載されているような目的を持って活動している団体だと受け止めている。
- 検査料金が高額だが、これも収支に合致するのか。
- 収支予算書を見ると、検査料金については、ほぼ参加者の参加費で賄われる予定である。
- 障がい者の保護者の方達は、結束している色々な活動をされており、現場以上によく勉強されているように感じる。助成制度の利用に慣れているかも知れないが、助成を有難く受けているのではないかと思う。
- ◎ 基金は、活動に対して助成を行うという意味合いのものだと思う。

\*\*\*承認\*\*\*

### 3 閉会

以上により、議事を終了